

# サントリー「天然水の森」 森林整備に伴う育苗

## ■背景

サントリーホールディングス(株)は、各工場が生産活動で汲み上げる地下水の2倍以上の地下水を涵養するため、全国14都府県20箇所9,000haにて水源涵養エリアの生物多様性保全と森林土壌保全に配慮しつつ森林整備を行う「天然水の森」のプロジェクトに取り組んでいる。ここでは、植生の遺伝子的攪乱を防ぐため地域性苗木の使用に積極的に取り組んでいる。松居農園では、近畿地方各地で採種されたイヌガシ、コバノミツバツツジ、タマミズキ、ネジキ、モチツツジなど合計90種類もの自生種の種子を預かり、精選、育苗、納品を行った。これらは、シカ食害対策として、シカ不嗜好性苗とシカ嗜好性苗に分類され、状況に応じて植樹が行われている。

## ■発注先

サントリーホールディングス(株)

## ■事業期間

平成26年～平成29年12月現在継続中

## ■状況写真



写真-1 種子(タマミズキ)



写真-2 種子(ネジキ)



写真-3 圃場



写真-4 植樹の様子